

入院決定時から退院後までを見据えて多職種でサポートします

入院が決まった時から、患者さんに関わる多職種のスタッフが協働して準備し、以下のような支援を行っています。
患者さんにもチーム医療の中心としてご協力いただくことがたくさんあります。退院後の生活を見据えて、一緒に早期回復を目指してまいりましょう。



患者サポートセンター

- 入院決定時**
 - 入院が決まったら「入院問診票」をご記入ください。ご希望を含め、必要事項をお書きください。
- 入院**
 - 入院前にオリエンテーションを行います。問診票を基に、お話や疑問点などをお伺いし、「退院先の希望」を含めて不安軽減や早期の状態把握を目指します。
- 術前にもオリエンテーション**
 - 術前にもオリエンテーションを行います。手術を受けられる方は、クリニカルパス等を使って術前後の説明、約30分程度の呼吸器訓練（トライボール）の説明があります。
- 退院決定時**
 - 住み慣れた地域で自分らしく生活するために患者さんのご希望を中心として、退院後も自分らしくできるだけ自立した生活を送れるよう、ご入院中に地域の医療機関や介護・福祉の方々など様々な連携を行っています。「医療相談室」もご利用ください。
- 退院**
 - 安心して退院するために退院後の生活への不安が解消できるよう、必要なケアや手技指導、ご家族支援などを医療チームでサポートしている他、必要な場合は「退院時共同指導」を実施し、退院後に関わられる方々と共に、その先を見据え安心安全な環境を目指します。

看護師

- 外来**
 - 入院前から始まっています！多職種連携。入院決定時から、医師を中心に多職種が関わります。うまく連携できるよう、様々な情報をデータベースとして院内で共有し、より安全な医療の提供、早期回復・退院支援につなげています。
- 急性期病棟**
 - 患者さんに応じたケアを提供します。入院決定時からデータベースの情報を共有し、入院直後から患者さんの治療や個別ケアに集中しています。
- 地域包括ケア病棟**
 - 安心して退院できるようにサポート。退院後の準備が必要な方やレスパイト入院の方に対し、ケアを行いながら、退院後の意向や不安をお伺いしています。

担当看護師が主体になって、多職種でカンファレンスなどを行い、チームで支援しています

薬剤師

- 入院前**
 - 入院前に、お薬手帳で服薬内容を確認します。入院が決定了ら、薬剤師から現在服用または使用されているお薬のことをお伺いし、手術前などでお休みが必要なお薬を確認してお伝えします。また、お薬の内容を正確に把握するために、お薬手帳を確認させていただきますので、ご持参ください。
- 入院当日**
 - 入院当日にも、服用中のお薬を確認します。服用中のお薬を確認の上、主治医と相談し、お薬の内容に変更がある場合にはご説明いたします。
- 入院中**
 - 入院中、副作用症状などを確認します。定期的にお部屋に伺い、お薬の効果や副作用症状などを伺います。
- 退院後**
 - 退院後もお薬を安全に服用するために退院後のお薬の説明や管理方法の提案などを行います。必要に応じて保険薬局やかかりつけ薬剤師と連携します。

管理栄養士

- 入院前**
 - 入院が決定了ら、アレルギーや栄養状態を確認します。食事や栄養面で気になることがありましたら、管理栄養士までお気軽にお尋ねください。
- 入院中**
 - 入院中、栄養管理計画書に沿って食事を提供し、必要に応じて栄養食事指導を行います。
- 手術前後**
 - 手術の前後それぞれの手術に適した栄養管理を行い、言語聴覚士と協働して食事量や食欲の有無・体の状態などを毎日確認して調整します。
- 退院後**
 - ライフスタイルに応じて支援します。退院が近づくと、他職種とも連携し、退院先やライフスタイルを考慮した食事提供や栄養食事指導を行います。施設への転院や在宅サービスを利用される場合は「退院時共同指導」などで今後の注意点を共有しています。

リハビリテーション

- 入院前**
 - 入院前から急性期。誤嚥などのリスクが疑われる患者さんは、全身麻酔で手術を受ける方は、「術後肺合併症の発症リスク」を評価し、リスクが高い場合は、術前から介入して、自分でできる体力・呼吸機能向上などの支援も行っています。術後は、立つ・歩く能力や体力改善による早期離床を促します。
- 回復期**
 - 回復期。摂食嚥下訓練を行い、摂食嚥下機能の改善・誤嚥性肺炎予防を行います。摂食嚥下状態に応じて食物形態や姿勢、摂取方法の検討を行い、多職種と情報共有・連携を行います。活動を促し、生活の基盤を整え、生活の場面で必要な動作の練習や環境の整備を検討します。
- 退院決定～退院前**
 - 退院決定～退院前。カンファレンスやリハビリサマリーなどで安全な摂食のために退院後の食事での注意点や誤嚥リスクを情報共有します。退院後の生活に必要な動作や住環境のアドバイスや退院後も継続できる自主運動をご提案します。